

もっと知りたい! 遠野の予算

The description of Tono city budget.

遠野スタイル、
スタートダッシュ予算。

平成28年度一般会計予算総額

188億6,000万円

目次

- P2_予算の特徴
- P3_健全財政の取り組み
- P4_収入と支出
- P6_大綱別の主な事業
- P8_4つのスタートダッシュ



第2ステージ、いよいよスタート!

昨年は、「新遠野市」が誕生して10年の節目を迎え、これまでの歩みを振り返るとともに、新たなステージへの船出を祝うことができました。

今年は、まちづくりの指針となる「第2次遠野市総合計画」がスタートする、極めて重要な年です。この計画では、これまでの取り組みを継承し、「遠野スタイルの創造・発展」を基本理念に、将来像を「永遠の日本のふるさと遠野」としました。こ

の10年間で培ってきた遠野スタイルによるまちづくりにこだわりを持ち、さらなる市勢発展に向け取り組んでまいります。

第2ステージに向けた新たな一歩を踏み出すため、平成28年度は「遠野スタイル、スタートダッシュ予算」と名付け編成しました。ぜひ、広報遠野増刊号をお読みいただき、遠野市の予算に理解を深めていただければと思います。



遠野市長
本田 敏秋



予算の特徴

18,860,000,000



テーマ

遠野スタイル、スタートダッシュ予算。

「永遠の日本のふるさと遠野」を目指して

平成28年度は、本市の今後の10年間のまちづくりの指針となる「第2次遠野市総合計画」の初年度です。まちづくりの第2ステージが、いよいよスタートします(3月上旬に全戸配布した概要版(右図)で詳しく紹介しています)。

平成28年度の目標は、第2次総合計画に掲げる将来像「永遠の日本のふるさと遠野」の実現や重要課題解決に向けた取り組みを加速させること。そのため、平成28年度の当初予算は「遠野スタイル スタートダッシュ予算」と位置付け、総額188億6,000万円で作成しました。

併せてお読みください!



配布済

総額 平成28年度一般会計予算

188億6,000万円

前年度比
22億2,000万円 **減額**
(前年度比10.5%減)

4つの取り組みで、スタートダッシュを決める! ※P8参照

この予算は、10年間のまちづくりの目標である「第2次遠野市総合計画」の着実な実行▷人口減少に歯止めをかけるために策定した「遠野スタイル創造・発展総合戦略」による事業の重点化一の2つに主力を置いています。この2

つの視点から、①まちなか再生②産業振興・雇用の確保③少子化対策・子育て支援④地域コミュニティの再構築一の4つの取り組みに予算を重点的に配分。これらの取り組みを加速させ、スタートダッシュを図ります。



1 まちなか再生

▶▶▶ 18事業、約16億円



2 産業振興・雇用の確保

▶▶▶ 28事業、約8億円



3 少子化対策・子育て支援

▶▶▶ 27事業、約16億円



4 地域コミュニティの再構築

▶▶▶ 7事業、約1億円

健全財政の取り組み

18,860,000,000



ムダを削って財源を確保

平成28年度の予算編成にあたっては、事務消耗品や光熱水費などの節減に全庁的に取り組み、経常的経費を前年度比約3%抑制。また、市独自の事業などの再編・統合、市有財産の売却による歳入確保を図り、新規事業や重点事業などへの財源をねん出しています。

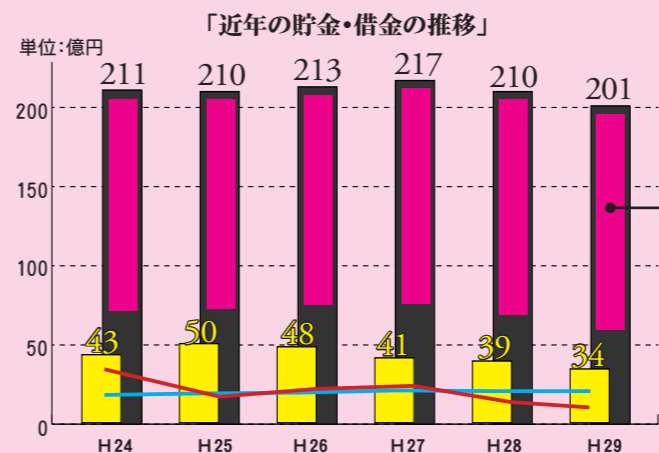
取組1

- ★経費の3%削減
- ★市単独事業の見直し
- ★市有財産の売却

実質負担が少ない借金で賢くやりくり

近年、市民センターの老朽化に伴う大規模改修や東日本大震災で全壊した本庁舎の建設など、借金を伴う建設事業費が大きくなっています。そのため、第3次遠野市健全財政5カ年計画に基づき、借り入れと返済のバランスや将来

負担などに留意しています。また、借り入れる際は、返済時に国の支援が受けられる借金(市債)を選んでおり、実質的な市の負担は借金残高の約3割です。平成28年度も、将来の財政負担を見据え、最適な借り入れ方法を選択します。



取組2

返済時に国が負担する借金を選択します

■は、返済時に国が負担します。よって、借金残高のすべてが市の負担となるわけではありません。



特別会計

※()は前年度比

特別会計予算総額 ▶ 93億635万円(2%増)

※端数処理をしているため、下記の合計と総額は一致しません

特別会計	予算額
国民健康保険【保険事業分】	40億794万円
国民健康保険【直営診療施設分】	1億5,715万円
後期高齢者医療	3億1,344万円
介護保険【保険事業分】	33億2,788万円
介護保険【介護サービス事業分】	1,721万円
ケーブルテレビ事業	5億4,818万円
農業集落排水事業	7,528万円
下水道事業	8億5,928万円

公営企業

※()は前年度比

公営企業会計予算

遠野市の水道に関する予算です。
収益的収入 ▶ 7億8,240万円(1.2%減)
支出 ▶ 6億6,544万円(2.4%増)
資本的収入 ▶ 3億3,572万円(41.6%減)
支出 ▶ 7億3,909万円(19.5%減)

特別会計予算とは?
 特定の目的のための予算で、一般会計とは別に計算する。本市には8つある。
公営企業会計予算とは?
 民間企業と同じように事業収益を上げて運営している予算。本市は、水道事業会計予算のみ。

収入と支出

総額

188億6,000万円

18,860,000,000



収入

市の主な収入には、市税や国と県からの交付金、銀行などから借りるお金などがあります。

①市税

24億8,669万円 皆さんに納めていただいているお金

②繰入金・諸収入等

24億4,545万円 基金(貯金)を取り崩すお金など

自主財源

市税や貯金の取り崩しなど、市が自ら得ることができる収入を自主財源(①②)といいます。

③地方譲与税・地方消費税交付金・地方交付税等

89億830万円 皆さんが国に納めているお金の一部

④国や県からの支出金

32億2,017万円 国や県からの使い道が決められているお金

⑤市債

17億9,940万円 銀行などから借りるお金

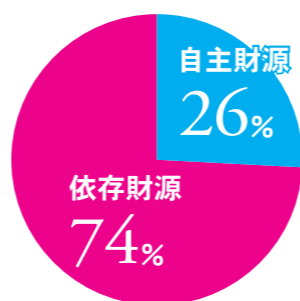
依存財源

国や県の基準に基づいて交付されたり、割り当てられたりする収入を依存財源(③④⑤)といいます。

合併から10年が経過し、特例的な収入が減少。

「自主財源」のうち、市税は新築家屋による固定資産税の増額などにより、前年度比約2,927万円の増。「依存財源」のうち、地方交付税は国勢調査人口の減少(※1)や合併算定替の縮減(※2)などにより前年度比3億9,299万円の減、国庫支出金は市民センター大規模改修事業の完了に伴う社会資本整備

総合交付金の減などにより前年度比2億7,036万円の減を見込みます。また、市債は、合併特例事業債(※3)の活用事業が完了したことから、前年度比9億4,390万円の減を見込みます。市が独自に確保できる自主財源は26%と乏しく、依然として、依存財源に頼る財政状況となっています。



※1…地方交付税の額は国勢調査人口を基に決定されるため、人口が減少すれば交付額も減少 ※2…合併算定替とは、合併後10年間は合併前の市町村ごとに算定した交付額の総額をもらえる有利な仕組みのこと ※3…合併特例事業債とは、合併した市町村が少ない負担で国から借りられる有利な借金のこと

支出

教育や福祉、医療のほか、道路整備、災害対応など皆さんの暮らしのために使われます。

①人件費

31億1,984万円 市職員の給料や議員報酬などに

②扶助費

28億7,295万円 生活保護、障がい者の支援、福祉や医療に

③公債費

27億4,447万円 借金の返済に

④普通建設事業費

26億5,417万円 道路の整備、学校などの建て替えやその補修に

⑤災害復旧事業費

4,000万円 自然災害などの復旧に

⑥物件費

33億9,236万円 電気・水道・燃料や事務用品などにかかるお金

⑦補助費等

14億4,052万円 各種団体への補助金や負担金などに

⑧繰出金

19億3,395万円 特別会計予算(P3)などに

⑨積立金等

6億6,174万円 基金(貯金)への積立などに

義務的経費

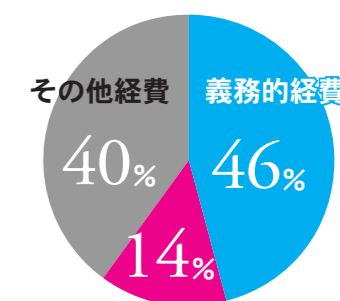
投資的経費

その他経費

大型事業の完了により、投資的経費が減少。

「義務的経費」は法令で義務づけられたお金のことです。①人件費は、定員管理計画による職員数の縮減などにより前年度比1,117万円の減、②扶助費は、高齢者福祉や児童福祉などの経費増に伴い9,606万円の増、③公債費は、第3次健全財政5カ年計画に基づき、前年度比375万円の増にとどめ、プラ

イマリーバランス(※4)の黒字化を堅持しました。「投資的経費」は、市民が利用する道路や建物の整備などに使うお金のこと。④普通建設事業費は、市民センター大規模改修や公共牧場再編整備事業の完了などに伴い、前年度比20億3,867万円の大幅減となりました。



※4…プライマリーバランスとは、借金を除いた収入と支出のバランス。赤字であれば、将来に負担を残すことになる

市民一人あたりの年間経費を紹介(金額順) ▶ 総額 657,830円

※()は前年度との差額。本年1月31日現在の人口(28,670人)で算出

costs



民生費

高齢者や子どもの福祉などに
162,323円(+5,385円)



総務費

市役所の運営、建設などに
139,836円(-62,444円)



公債費

借ったお金の返済に
95,726円(+1,349円)



教育費

学校や社会教育などに
60,078円(-5,354円)



農林水産業費

農業、林業、畜産業などの活性化に
49,126円(-11,730円)



土木費

道路や公園などの整備に
49,017円(-494円)



衛生費

病気の予防やごみ処理などに
45,576円(-2,526円)



商工費

商業、工業の振興に
27,523円(+5,731円)



消防費

消防・防災、救助活動に
20,409円(+2,045円)



議会費

議会運営に
5,465円(-418円)



災害復旧費

災害の復旧に
1,395円(+18円)



労働費ほか

雇用の拡大・定着などに
1,356円(+373円)



大綱1

自然を愛し共生するまちづくり

新 ケーブルテレビFTTH化整備事業費 1億9,918万円



ケーブルテレビ網の老朽化対策と防災力強化を目的に、小友町エリアの光ファイバー化に取り組みます。

新 消防団待遇向上事業費 2,108万円
新 消防団出動管理費 7,441万円

消防団員の活動を後押しするため、各部に配備する防火衣と全団員に配備する防寒衣を整備。さらに、団員の出動手当を増額します。



新 空家等対策事業費 986万円
市内に点在する空家の実態把握を進め、その結果に応じた計画の策定を進めます。

新 安心安全な道づくり事業費 2億1,306万円



生活に身近な道づくり事業計画に基づき、地域の道路環境整備に取り組みます。

新 スマートエコライフ推進事業費 200万円

再生可能エネルギーの普及などを目的に、一般家庭への太陽光発電と蓄電池設備などの導入にかかる費用の一部を助成します。



【その他の主な事業】
◎携帯電話不感地域解消事業費 5,213万円
◎【新規】防災教育推進事業費 501万円

大綱2

健やかに人が輝くまちづくり

新 保育所等運営事業費 10億413万円

平成28年度から民営化する市立保育園(子ども園)を含め、市内14の保育所(子ども園)の運営を市保育協会へ委託します。



新 地域が家族いつまでも元気ネットワーク整備交付金事業費 3,859万円

市内に小規模多機能型居宅介護施設を整備する事業者に対し補助する事業です。

新 岩手国体運営事業費 1億1,710万円

新 岩手国体サッカー会場整備事業費 1,208万円



いよいよ開催まであと7カ月に迫った、希望郷いわて国体サッカー競技少年男子の開催運営費と、会場の整備事業費です。

【その他の主な事業】
◎社会福祉協議会運営支援事業費 6,268万円
◎乳幼児等医療費給付事業費 2,993万円
◎生活困窮者自立促進支援事業費 910万円

大綱3

活力を創意で築くまちづくり

新 遠野東工業団地整備事業費 7,423万円

東北横断自動車道釜石秋田線の全線開通を見据え、同団地を整備し、雇用の創出を図ります。

新 外国人観光客おもてなし推進事業費 600万円

観光ガイドブックの多言語化や観光ガイドの育成を図り、外国人観光客の受け入れ体制を強化します。



新 若者定住促進事業費 540万円

若者の安定した生活と、就業の定着、定住を図るため、家賃補助や社員研修などを行います。

【その他の主な事業】
◎【新規】六次産業化・地産地消推進事業費 260万円
◎木質バイオマスエネルギー活用推進事業費 2億31万円
◎中山間地域等直接支払事業費 1億2,749万円

大綱4

ふるさとの文化を育むまちづくり

新 高校魅力化サポート事業費 200万円

県立高校再編計画案に対する市内県立高校支援対策として、魅力ある高校づくりのアクションプランを策定します。



新 重要文化財千葉家住宅整備事業費 1億503万円



千葉家住宅の保存・活用に向け、平成28年度は主屋などの解体工事を進めます。

新 学力向上対策事業費 2,034万円
教育相談員を配置し、通級指導や学校訪問を行います。

【その他の主な事業】
◎学校給食事業費 2億940万円
◎通学対策費(小学校) 3,915万円
◎特別支援教育推進事業費 1,690万円

大綱5

みんなで考え支えあうまちづくり

新 市税等徴収事務費 6,407万円

平成28年度から、市民の皆さんが市税をコンビニエンスストアや郵便局でも納付できるようにします。



新 ICT利活用環境整備事業費 1,348万円



市役所新庁舎と防災センター間の映像共有システムの整備などを行い、情報技術を活用した防災力強化を図ります。

新 遠野みらい創造推進費 450万円

地方版総合戦略で描いた「遠野みらい創造デザイン」の実現に向け、市民や市議会議員らが先進地を視察・調査します。

新 広域連携推進事業費 50万円

定住自立圏構想などの広域連携を推進するための、調査や検討を進めます。

【その他の主な事業】
◎社会保障・税番号制度関連システム整備事業費 1,341万円
◎みらい創りカレッジ推進事業費 819万円
◎遠野スタイル地域経営改革推進事業費 70万円

4つのスタートダッシュ

18,860,000,000



スタートダッシュを決めるため、予算を重点的に配分した主な事業を紹介します。 ※P 2 参照

1 まちなか再生

市役所本庁舎を拠点とした遠野駅前周辺の活性化と、宮守町の道の駅みやもり周辺エリアの再生に取り組み、2つのまちなかの魅力を高めます。

● 本庁舎整備事業費 13億400万円

平成29年3月の完成に向け、市役所本庁舎の建設を本格的に進めます。

● 宮守まちなか再生事業費 9,886万円



「(仮称)宮守中心市街地活性化センター」(道の駅みやもり)内に、図書館機能を移転するなどの改修工事を行います。

【その他の主な事業】

- ◎遠野まちなか再生事業費 1,000万円
- ◎【新規】宮守銀河住宅整備事業費 850万円

3 少子化対策・子育て支援

市内の企業や関係機関と連携し、地域による子育てを応援します。また、妊娠から出産、子育て期まで、切れ目ない子育て環境の充実を図ります。

● 特定教科集中対策事業費 300万円

市内3中学校に学習支援員を派遣し、定着度の低い数学に特化した学力向上対策を行います。

● 子育て応援宣言のまち推進事業費 1,082万円



「ファミリー・サポートセンター」の運営、子育て環境の整備・充実を図る企業に費用助成するなど、地域での子育てを支援します。

【その他の主な事業】

- ◎【新規】幼稚園応援事業費 997万円
- ◎妊娠・出産・子育て包括支援事業費 569万円

2 産業振興・雇用の確保

若手人材や民間ノウハウを積極的に活用。6次産業の活性化や、市内産直のネットワーク構築と販路拡大に取り組み、産業を元気にします。

● 遠野ローカルベンチャー事業費 4,257万円



都市部の若手人材を起業型地域おこし協力隊として採用し、移住・定住の促進や雇用創出、さらには6次産業化や中心市街地活性化につなげます。

● 肉用牛増産対策推進事業費 3,677万円

遠野生まれ遠野育ちの「いわて遠野牛」のブランド確立に向け、各種支援を行います。

【その他の主な事業】

- ◎【新規】アスト加速化事業費 2,456万円
- ◎【新規】耕畜連携ネットワーク推進事業費 2,050万円

4 地域コミュニティの再構築

「第2次遠野市進化まちづくり検証委員会」の提言に基づき、新たな地域づくりに取り組みます。地区センターを現行の9地区から11地区に拡大します。

● 地域の元気応援事業費 3,578万円



宮守町達曽部・鱒沢の2地区を加えた全11地区の地区センターに、地域活動専門員を配置します。

● みんなで築くふるさと遠野推進事業費 1,816万円

市民団体が行う地域づくりや地域課題解決のための取り組みに対し、補助する事業です。

【その他の主な事業】

- ◎ICT健康づくり事業費 3,775万円
- ◎道と川の市民協働推進事業費 725万円